

～7月に園内で発生した感染症～

- ・りんご病 じわじわと感染が続いています。(一度かかったら基本的にはもうかかりません。)
- ・とびひ 患部がガーゼで覆えない場所の時は、登園を控えて下さい。
- ・手足口病 全身状態が良く、食事が摂れていれば登園できます。
- ・はやり目 感染力が高いウイルス性の結膜炎です。
- ・結膜炎 鼻風邪からくる目やにの症状の子が増えています。受診をお願いします。
- ・咳、鼻水の風邪 未満児で特に咳の風邪が流行っています。熱がなくても、咳がひどく、ゼーゼーしている様な呼吸の時は無理をせず自宅で静養しましょう。
- ・胃腸風邪（下痢・嘔吐）

結膜炎症状や（ウイルス性なのか細菌性なのか）、発疹（発疹が出る感染症は沢山あります）は、ある程度園で判断できても、感染性があるかないか等の診断は医療機関の受診が必要となります。

何らかの症状がある場合に、集団生活のため受診をお願いしています。いつも快く対応して下さい、ありがとうございます。

～虫さされパッチについて～

虫よけグッズと同様、薬剤が含まれており、剥がれてしまった場合に小さな子が口にしてしまう危険性があることから、**園での使用は控えてもらうようお願いします。**また、多くのかゆみ止めパッチは、長時間の使用を避け、1回の使用は4～5時間程度が目安とされています。保育時間は、ほとんどの子が4～5時間を超えるため、保育中に貼り続けることは望ましくありません。ご自宅で使用してもらい、登園前に剥がしてもらうようご協力下さい。剥がし忘れて登園された場合は、こちらで外させてもらうのでご了承下さい。

！ 子どもを 絶対に 車内に残さないで ！

毎年、夏になると車内に残された子どもが熱中症を発症する事故が起こります。

ある実験で、気温35℃の12時から4時間の間に、車内温度（約25℃）がどれくらい上昇するかを調べました。



結果は…

時間	車内温度
12:00	約 25℃
12:05	約 35℃
12:30	約 45℃

たった
5分で
10℃上昇！

冷房で車内温度を約18℃にしていた場合でも、エンジンを切って15分後には熱中症の危険度が高い約31℃にまで上昇しました。冷房をつけたままでも危険です。ガラスからの直射日光や、空気の乾燥で汗が蒸発して脱水状態になりやすいため、熱中症のリスクがあります。

「すぐに戻るから」「寝ているから」…どんな理由があっても、子どもを車内に残さないでください。

